

朝霞市民のみなさまへ

新しい朝霞へ
変えていこう!!

小野寺のりこが

市民の声を形にした

政策集をお届けします。▶▶▶

目次

はじめに……………	p. 2
プロフィール……………	p. 3
小野寺さんってどんな人？ ……	p. 4
皆さまの声をお聴きする 対話集会や街頭活動……………	p. 6
朝霞市をアップデート！ 7つの基本政策と具体策……………	p. 8
皆さまへのお願い……………	p.12

はじめに

いま、朝霞市は大事な転換点を迎えています。

さまざまな困難な状況にあっても孤立や取り残されることなく、地域と繋がり、安心と幸せを実感できる朝霞市。そして、そのために必要な力強い地域経済と、若者の挑戦を後押しできる、ワクワクする朝霞市。

そんなこれまでにない、新しい朝霞市を実現するためには、今変わらなければなりません。

私はこれまで、埼玉労働局職業安定部長、障害者雇用対策課長、労働局長などを歴任し、政策立案能力を磨くとともに、組織のリーダーとして多くの課題解決に取り組んできました。行政経験の中で、地域の声に基づいた政策を実現する重要性を深く理解し、また障害者雇用や働き方改革など、現場の声を反映させた政策で成果を上げてきました。これらの経験を、これからは朝霞市の未来のために活かしていきます。

私、小野寺のりこが大切にしているのは、市民の皆さんお一人おひとりの声に耳を傾けることです。

市内で開催している対話集会では、

「子育てしやすい環境が欲しい」

「高齢者が安心して暮らせるまちにしてほしい」

「地域で支え合える仕組みを作ってほしい」

こうした声を直接お伺いし、この政策冊子に反映してきました。

今こそ、変化の時です。

私、小野寺のりこと一緒に、新しい朝霞へ変えていきましょう！

小野寺 徳子

プロフィール

小野寺徳子(おのでらのりこ)

1965年12月28日生まれ、東弁財に在住
家族はこども2人とミニチュアダックス

学歴 **1989年** 早稲田大学教育学部 卒業

2019年 明治大学ガバナンス研究科修了
(公共政策修士)

趣味

料理、ウォーキング、
ピラティス

特技

小中高と水泳をし、大学時代
は漕艇部(シングルスカル)の
ため、体力に自信あり!

好きな言葉

一息に生きる(いっそくにいきる)

好きな食べ物

エビを使った料理、栗を
使ったお菓子

34年間の歩みと挑戦^(抜粋)

特に障害者雇用や働く環境の改善において、多くの実績を残しており、
社会課題の本質を捉えた戦略的な政策形成には自信があります!

1990年 労働省(現・厚生労働省)入省

障害のあるこどもたちが安心して
生きていける社会づくりを目指して
入省しました。

1992年 大臣官房広報係長

1994年 長男出産・育休取得

1995年 海外労働情報係長、

長女出産・育休取得

二人のこどもを抱え、仕事と家庭
の両立に奮闘しました。子育てに
は、職場だけではなく、地域・社会
全体の理解や応援が必要だと
痛感しました。

1996年 労働研修所教官

2010年 埼玉労働局職業安定部長

東日本大震災で福島県から避難
してきた方々への就労支援に奔走
しました。生活者の支援策が他市に
比べて薄く、解決すべき支援の
課題が多くある朝霞市の将来を
考えるようになりました。



●障害者雇用対策課長として、障害者雇用現場を視察



●労働局長として、定例記者会見

2017年 労働大学校准教授

2019年 障害者雇用担当参事官、 障害者雇用対策課長

念願の障害者雇用対策の舵取りを
任せられ、障害があっても能力を発揮
して活躍できる社会の実現を進め
ました。

2023年 福岡労働局長

福岡労働局で初の女性局長として、
地域の雇用支援をリードしました。

2024年 12月 厚生労働省を早期退官

34年間の経験を活かし、地域に根
ざした新たな挑戦を決意しました。



●労働時間短縮に取り組む先進的な企業(ベストプラクティス企業)の現場を視察

小野寺さんってどんな人？

障害者1500人雇用をめざす！ 岡山県総社市 片岡聡一 市長



仕事に対する姿勢

小野寺さんは厚労省で日本の障がい者雇用を進め、「障がい者1500人雇用」に取り組む総社市の大人です。G7諸国の中で、日本の障害者雇用はトップクラスと言われています。その背景には、「法定雇用率を引き上げる」という挑戦がありますが、それを本気で実現に向けて取り組んだのが小野寺のりこさんです。小野寺さんは、障害のある方々がもっと働ける環境を整えるために、経営者に対して積極的に働きかけ、新しいルールを作り上げてきました。障害を持つ方々やそのご家族にとって、小野寺さんの存在は大きな希望になっていると思います。

政治家だったらどんなタイプ？

多くの政治家は、無難に「フェアウェイの真ん中」を歩こうとしますが、小野寺さんは違います。反対の声があっても、地域に活力を生み出すために突き進む、行動力のある政治家になれると思います。今の日本の地方に求められているのは、まさにそういった姿勢を持つリーダーではないでしょうか。

めざすまちづくり像

これからの地方において、一人の「強いリーダー」がすべてを仕切る政治ではうまくいきません。弱い立場の人々や障害のある方々など、みんなで支え合いながら生きる社会を築くことが大切です。そんな社会こそ、真に強い社会だと私は信じています。その理想に向かって行動してきたのが、小野寺のりこさんです。小野寺さんは、障害のある方々に対して深い愛情を持ち、それを行動で示せる方です。それだけでなく、現場に飛び込んで実際にまちを変える力も持っています。本当に頼もしい存在です。



小野寺のりこの 「こんな朝霞をつくりたい」

私は一人ひとりもっている能力や希望に応じて、自分らしく輝ける居場所や働く場が確保される「インクルーシブなまちづくり」をめざしています。弱い立場や障害のある方々にとって暮らしやすく働きやすい環境は誰にとっても幸せを実感できるまちになります！



福元 邦雄さん

前三菱商事太陽株式会社代表取締役社長

私は、大分県別府市にある「太陽の家」(※)との共同出資会社である「三菱商事太陽」の代表を務めていました。小野寺さんが厚生労働省の障害者雇用対策課長になってから、太陽の家に課員を次々と派遣し、これまでとは異なる新しい風を感じさせてくれました。「国の障害者雇用政策が変わるのではないか」と実感した瞬間でした。

小野寺さんは障害者雇用を単なる数合わせで終わらせず、障害者が社会で意味のある仕事に就けるよう、真剣に取り組んでいました。現場に直接足を運び、自身で課題を肌で感じ、政策に反映させるやり方は課題の本質を見極めて改善する力を持っていました。その働きかけによって、これまで諦めていた多くの人々に光が差し込みました。

トップの人柄やキャラクターは、組織の風土を大きく変える力を持っています。私は、小野寺さんが市役所を地域をイノベーションする場に変え、これまでの行政に新しい価値観をもたらすことができると信じています。

※太陽の家

大分県別府市にある、障害者雇用のパイオニア的存在の社会福祉法人。オムロン、ソニー、ホンダ、三菱商事、デンソー、富士通エフサスなどと共同出資会社を設立し、障害者の雇用開発に積極的に取り組んでいます。その活動は、NHK総合テレビのスペシャルドラマ「太陽を愛したひと～1964 あの日のパリンピック～」としても放映され、多くの注目を集めました。



高橋 陽子さん

ダンウェイ株式会社代表取締役社長

小野寺さんが厚生労働省の課長のときに、私は厚生労働省の障害者雇用分科会の委員として一緒に仕事しました。中小企業の障害者雇用に取り組み、中小企業認定制度「もにす」の導入に力をいれていた頃です。

障害者が排除される社会を変えたくて小野寺さんとは真剣に意見交換をしました。一人ひとりの能力を正當に評価して、雇用や福祉につなげていく制度づくりをしてくれました。私の子にも障害があり、同じ障害者の親として、立場を超えて共感できたこともありましたが、(自分の意思とは関係なく)多くのことを諦めてきた障害者が働くことにチャレンジできる社会への大きな一歩を実現してくれたことは大きな夢と勇気をもらいました。

小野寺さんは、牽引力と傾聴力をあわせもち、真剣に意見交換し、前に進めます。現場もとても大切に、気持ちをしっかり受け止めて共感を汲みながら実行していく仕事ぶりはリスペクトしています。

ダンウェイ株式会社

川崎市に事業所をもち、障害者の就労支援事業や障害児へのサービス、障害者の就労を支援するサポートシステムの開発などを行っています。

皆さまの声を直接お聴きするため、市内各地での対話集会や

主役は市民！朝霞をアップデートするには、市民の皆さまのお声が何よりも大切であると考え、市内各地で対話集会や街頭活動を通し、皆さまの声を直接お聴きしました。



みんなで創る、「あさか^声プロジェクト」

対話集会では貴重なご意見やご質問を沢山いただきました。また街頭活動でもさまざまな声をお聞きしております。新しい朝霞の未来をつくるため、オンラインでも引き続きご意見の募集をしております！ぜひあなたの声を聴かせてください。

オンライン
受付フォームより
あなたの声を
お聴かせください！



皆さまからお聴きした声に**小野寺**が答えます!

☑ 財政と福祉政策

●対話集会参加者

市の予算が厳しい中で、小野寺さんのやりたいことは本当に実現できるのでしょうか?



小野寺

朝霞市の厳しい財政状況は認識しています。近隣市との連携によるスケールメリットや、先進的な取組みを通じて国や県からの補助金を獲得するなど、工夫も重ねて必要な予算を確保したいと考えています。

☑ インフラ整備

●対話集会参加者

朝霞市は道路や公共施設の整備が不十分だと感じます。



小野寺

計画性のない整備が原因で、歩道の虫食いや施設の老朽化が進んでいます。インフラ整備は計画的に進める必要があります。

☑ 経済と雇用

●対話集会参加者

地域経済を活性化させる政策が必要だと思います。



小野寺

市内業者を大切に、スタートアップの支援や、人材確保の課題には働きやすい環境を整え、多様な方の働く場の確保を考えています。

●対話集会参加者

私の工場では朝霞市内から多くの障害者を雇用しています。以前、小野寺さんが厚労省の職員を1日派遣して現場を見ていただき、大変感謝しています。



小野寺

現場の実態を理解しないと効果的な政策を実現することはできません。私自身も、部下も、現場を見に行くことを大切に、政策を進めてきました。

☑ 農業と地域の未来

●移動中に声をかけていただいた方

農業の継承者をどう育てるか、また農地をどのように守っていくべきか悩んでいます。



小野寺

人の「生きる」を支えている農業を守り育てていくことを大切にしたいと考えます。地域内で農業を盛り上げ、助け合いや協力の基盤を作っていきたいです。

☑ リーダーシップと人材観

●対話集会参加者

小野寺さんにとって『偉い人』とはどんな人を思い浮かべますか。



小野寺

自らの責務を矜持を持って全うする人だと思います。たとえば、日航機墜落事故で機長が極限状態の中、最後まで操縦桿を握り、副操縦士を励まし、職責を全うされた姿勢には強い感銘を受けました。

1 生きるスタートを大切にする 子育て・教育分野

- 子どもの暮らしを幸せと思える産前・産後ケア
- 産後に負担が大きい家庭へのホームヘルパー派遣制度
- 保育で働く人の待遇改善と人材確保策の強化
- インクルーシブ教育・保育をめざす
- 学校と地域と一緒に子どもを見守るコミュニティスクールの活性化
- 子ども達が自分らしく成長できる学びと遊びの環境づくり
- 子ども達のための教職員の働き方改革
- 子ども達への小学校の校庭開放
- 放課後児童クラブの待機児童解消
- 学校とつながりながら、孤立化を避ける不登校対応
- 教職員による性暴力等を防止するための仕組みづくり
- 子どもの人権オンブズマンの設置
- 子どもをサポートするための支援体制の強化



2 みんながみんな輝く インクルーシブな朝霞

- 障害のある人が住み慣れたまちで暮らすための地域包括ケアの実現
- 誰もが一緒に学べるインクルーシブ教育の推進
- 障害者雇用の促進
- 少しずつ自分の力を発揮して働くことができる仕組みづくり
- 短時間からでも働きたい人と働いてほしい企業のマッチング支援



小野寺のりこの「こんな朝霞をつくりたい」

新しい生命の誕生は本当に喜ばしいことです。そんな生きるスタートを妊娠してから、生まれ、育っていくまでの子どもの人生全体を見通し、必要な支援が切れ目なくつながっていくような政策を強化します。子育ての心配事、悩みに寄り添い、解決への支援を徹底するとともに、できるだけインクルージョンに、そして子育てを楽しむよう人生のはじまりを大切にすることもや子育てのためのインフラをつくりまします。



小野寺のりこの 「こんな朝霞をつくりたい」

私は、一人ひとりが尊重され、能力や希望により居場所と役割があり、地域とのつながりの中で支え合う社会をつくりたい。具体的には、障害や生きづらさ・働きづらさを抱えても、誰かに頼りにされ、地域の困りごとを解決する力になれる機会を作り、互いに尊重し合えるまちづくりを目指します。そのために必要な福祉関係者や住民・行政などの支援ネットワーク作りを進めます。

コラム

「超短時間雇用モデル」とは？

障害や病気などにより、自分に合った短い時間なら働ける人がいます。短時間でも忙しい時間だけ人手が欲しいお店や働いてほしい企業などもあります。これらのニーズをマッチングし支える支援を行政が行う仕組みです。高齢者や家族を介護している方、子育て中の方なども含め働く機会も増やします。



3 弱さを支え大事にする

医療・介護・福祉

- 市民の健康を守る地域保健活動づくり
- 介護で働く人の待遇改善と人材確保策の強化
- 孤立・孤独にしないために地域を見守る相談員（コミュニティ・ソーシャルワーカー）の配置
- 人生の最終章を安心して迎えられるための支援の充実
- いざというときのAED救急救命の備え
- 民間企業との連携による公共交通空白地区の解消
- 公共交通網の整備と給付を組み合わせたお出かけ支援



小野寺のりこの 「こんな朝霞をつくりたい」

人はみな、年齢を重ねたり、人生の危機に見舞われたりして、困難を抱えることがあります。そんな時に孤立したり取り残されることなく、必要な支援や地域と繋がりが安心して暮らし続けられるまちをつくりたい。また、医療・介護・福祉の支援を充実させるには専門職が存分に仕事ができる環境を作ることが必要です。専門職の方が学ぶ機会を充実させ、待遇改善に努めます。

4 好奇心を支え挑戦を応援する 若者の人材育成

- 若者の実現したいことを提案できる政策コンペを行い、応援予算を確保
- 充実した青春を送る若者の活動支援
- 困難に直面した若者を応援するサポートセンターの設置
- 児童館や市民活動支援センターで、若者同士の人材紹介
- 地域の大学との連携強化
- 北朝霞駅周辺エリア「北朝霞・朝霞台デザインラボ」の定期開催支援
- 公共空間活用と商店街活性化を目的とした「あさかエリアデザイン会議」の継続的活動サポート



小野寺のりこの
「こんな朝霞をつくりたい」

若い人たちの好奇心を刺激して、若い人の「やってみよう」を後押しし、活躍の場があちこちに広がる朝霞市をつくりたい。こどもや若者が手をあげやすい機会や、仲間をつくりやすい環境、活動のための技術・知識が手にいれやすい仕組みをつくり、若者が活躍しやすい朝霞にしていきたい。また、市政への興味、参画を促す「政策コンペ」を実施します。

5 アイデアと仲間で元気なまちづくり 地域活性化

- 起業支援によって地域経済を活性化
- 市の仕事の地産地消
- 地域の人材発掘・育成を応援し、地域の農業・産業の後継者確保
- 市民活動のノウハウ支援や人材仲介機能の強化
- 会員管理や会費徴収をサポートする町内会運営アプリ等の導入後押し
- ICT利活用の実態調査や担い手不足への対応強化
- 内間木の皆さまと内間木を元気に
- 朝霞台の新施設を市民の活動を活性化するための見直し
- いつでも・いつまでもお出かけしたい公共交通の整備・維持
- 朝霞台駅のバリアフリー化・ホームドアの設置



小野寺のりこの
「こんな朝霞をつくりたい」

地域の活力は、市民がいろいろなことに関心をもって、必要だと思ったり、楽しく思えることに動き出すことでつくり出されます。そのために朝霞市民の好奇心を引き出し、一緒にやれる人を引き合わせ、能力を開発して、自信をもっていろいろなことに挑戦できる、仕組みや仕掛けを作れる地域づくりをします。そして、仕事を手軽に始められる環境、仕事を頼める地域のネットワーク、市民同士が協力し合う仕組みづくりを応援します。また、役所周辺の地域を中心に市の事業が展開されました。地域間の格差が指摘されています。地域の特性をみながら、その地域にあった問題解決方法を示します。

6 つらいことはできるだけ少なく 防犯・防災・安全・安心

- 豪雨災害時における道路冠水対策の推進
- 老朽化したポンプ車両や詰所など防災のための設備や装備に関する強化、更新
- 安全な場所にある福祉避難所を増やす
- 避難に支えがいる人の一人ひとりの支援計画の早急な具体化
- 大きな道路の歩道整備 ● 第二中学校校舎の改築
- 犯罪抑止のための防犯カメラの設置を支援
- 町内会・商店街設置の街灯への応援強化



小野寺のりこの
「こんな朝霞をつくりたい」

近年朝霞市では深刻な水害がしばしば発生するようになりました。2024年の夏にはゲリラ豪雨に見舞われました。また、発生の可能性が高まっている大規模地震による生活インフラのマヒを恐れている市民の方も少なくありません。災害対策は急務です。被害や犯罪を未然に防ぎ、生じる苦痛や不安を少しでも減らして、災害や犯罪に強いまちづくりを進めます。

7 市民を支える市役所づくり 市役所の改革

- 市民に役立つ市役所への改革
- 市職員の研修体制の強化
- DX(デジタル化)を推進する人づくり組織づくり
- DX推進で市民と職員の負担を軽減
- マイナンバーで市役所をもっと便利に
- 公共施設マネジメントの着実な実行
- 公民館や市民センターのバリアフリー化推進
- 障害があっても利用しやすい庁舎内カウンター整備
- 非正規職員の専門職や出先職場の戦力化
- 大学や研究機関との連携



小野寺のりこの
「こんな朝霞をつくりたい」

市役所は、市民のための市政、より信頼される組織となるため、市民の暮らしの実態をよく知った上で仕事をする必要があります。私は厚生労働省時代に、現場を見ること・部下が現場に行き学ぶことを大事にしました。私自身はもちろんのこと、市職員が地域に飛び込み、市民の暮らしを間近に見て、具体的に役立つ仕事ができる市役所にします。また、こうしたことを可能とするため、デジタル化によって仕事の効率化を図るとともに、市民の皆さんにとっても利便性の高い市役所にしていきます。

皆さまへのお願い

これまでにない新しい朝霞に変えていくため、
小野寺のりこにぜひあなたの力を貸してください。



**公式LINEで
友だち登録をお願いします!**

友だち登録後、SNS投稿や紹介など支援の輪を広げていただけますと幸いです。



**LINE
公式アカウント**



**ボランティアの参加を
募集中です!**

チラシ配り、ポスター貼りなど、数日だけ、数時間だけでも参加していただけますと助かります。ボランティアに参加いただける方は、メールにてお気軽にご連絡ください。



info@onodera-noriko.jp



**個人献金
受付しています!**

日本では個人による政治献金は一般的ではないかもしれませんが、しがらみのない活動をするためには、特定の団体による献金ではなく、お一人おひとりからの暖かなご支援が必要です。ご寄付いただける方は、下記のQRコードからよろしくお願いたします。

寄付して
応援する



選挙ドットコム

小野寺のりこ 政治家情報

※選挙ドットコム会員登録(無料)が必要です。



最後まで読んでいただき、ありがとうございました。
ともに新しい朝霞へ変えていきましょう!!

